

バザーリア、病院の門を壊す



29

脱施設化・脱病院をとげた イタリアと日本の精神医療の比較

	隔離	身体拘束
日本	8,800 件	8,193 件
イタリア	隔離室なし	身体拘束しない 公的病院が40%

日本：2009年630調査 一日の隔離と身体拘束件数

30

日本の隔離と身体拘束件数（一日）は イタリアの全病床数とあまり変わらない

■日本：隔離・身体拘束件数 17,000件
人口1万人あたり、1.3件（一日）

■イタリア：全精神科病床数 8,975 ベッド
人口一万人あたり、1.7ベッド

精神病院を廃止したイタリアでは、入院医療が必要な場合
総合病院の精神科か地域精神保健センターに入院する。

上記には強制入院ができない私立精神科入院施設4,862 床を含む

31

・「ベッドに縛りつけられたまま、死を迎える ことなど、あってはなりません」

ジゼッラ・トリンカスさん：イタリア全国家族会連合会長



2010年大阪
トリエステ精神
保健講演会にて

- ・2008年、大阪府の貝塚中央病院で指定医の指示を受けない違法な身体拘束が原因で入院者が死亡。
田村善貞院長は、カルテ改ざんしたと裁判で証言

32

イタリアでは隔離室なしでやれていると言う事実
日本では適切な精神医療が提供できているのか

- 国によって病気の重さが違うとは思えない
- イタリア：他害は強制入院の要件にはならない
- 尊厳を守ることが第一、施設の都合を強制しない
- 個人のニーズに地域生活の中で適切なケアが提供できれば、行動制限はほとんどなくて良い

33

諸外国の行動制限事情

- イタリア：隔離室なし
- イギリス：器具による身体拘束は禁止
- 退院請求実績：イギリス20%・日本3%
- 隔離拘束数日以内に書類提出。強制入院1週間以内に裁判官が
出向き、権利擁護者の立ち会いで適正審査（米カリフォルニア
州PAIMIなど）
- 精神科病院に権利擁護者が常駐・訪問し入院者の相談に応ず
- 隔離・身体拘束には常時1名が付き添うか15分ごとに必要性
を評価（多くの国）
- ヨーロッパ拷問防止委員会 CPT：精神病院や刑務所などに24
時間無制限のアクセス権限、勧告・通告の権限

34